

# IV

## 大学での学修

- 1 履修の手引き
- 2 卒業(修了)認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)
- 3 教育課程(カリキュラム)  
卒業(修了)要件
- 4 資格(学芸員・教員免許等)
- 5 学年暦(授業期間)
- 6 履修科目登録の上限(CAP制)
- 7 シラバス
- 8 授業
- 9 遠隔授業の受講方法
- 10 休講・補講
- 11 災害等による一斉休講措置
- 12 試験
- 13 成績
- 14 単位互換制度  
(大学コンソーシアム富山)
- 15 地域課題解決型人材育成  
プログラム(COC+)
- 16 数理・データサイエンス・  
AI教育プログラム(DS)

## 1 履修の手引き

「履修の手引き（“履修のしおり”、“履修案内”と称する学部もあります）」は、教育方針や履修方法等を示したものです。必要単位数や履修制限等の重要事項が含まれるので、熟読し、教育方針や体系をしっかりと理解した上で学修に励んでください。

※「履修の手引き」は、入学年度によって内容が異なる場合があります。必ず自分の入学年度のものを確認し、卒業まで大切に保管してください。

## 2 卒業（修了）認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

「卒業（修了）認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」とは、“どのような力を身に付けた者に卒業（修了）を認定し、学位を授与するのか”を定めた基本方針であり、学生のみなさんの学修の目標ともなるものです。本学では、全学の方針のもと、学部（研究科）あるいは、学科・専攻ごとに定めています。所属学部等の「履修の手引き」で確認してみましょう。

### 全学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【学士課程】

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与することを理念としている。

本学では、この理念に基づいて、幅広い知識や深い専門的学識を持ち、問題提起し解決する能力、組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力、新しいものやことを創造する能力、地域を志向する意識を身に付け、各学部が示す学修成果を上げた者に学士の学位を授与する。なお、その身に付ける能力を以下のとおり示す。

#### 幅広い知識

自然・社会・文化・人間について幅広く普遍的な知識を持ち続け、自立した市民として社会生活に活かす能力を身に付けている。

#### 専門的学識

それぞれの専門性に応じた深い知識を持ち、活用する能力を身に付けている。

#### 問題発見・解決力

自ら問題を発見し、情報や知識を複眼的、理論的に分析して問題を解決するとともに、新たに様々なものやことなどを創り出す能力を身に付けている。

#### 社会貢献力

組織や社会の一員として自らの役割を認識し、責任を持って自己を管理するとともに、倫理観と使命感を持って自ら行動し、地域と国際社会に貢献する能力を身に付けている。



富山大学ウェブサイト > 大学紹介 > 三つのポリシー > 教育方針 三つのポリシー > 学士課程の三つのポリシー > 各学部の三つのポリシー  
[https://www.u-toyama.ac.jp/outline/3policy/policy/faculty/#p\\_anch04](https://www.u-toyama.ac.jp/outline/3policy/policy/faculty/#p_anch04)



## 4 資格（学芸員・教員免許等）

取得可能な資格は、学部・学科・専攻によって異なります。以下のウェブサイトや「履修の手引き」を確認してください。

富山大学ウェブサイト > 学部・大学院・施設 > 関連リンク > 取得できる資格・免許一覧  
<https://www.u-toyama.ac.jp/academics/link/qualification/>



## 5 学年暦（授業期間）

学年暦は、1年間の授業や試験、補講、行事等のスケジュールを示したものです。

都市デザイン学部・経済学部の専門教育科目では、クォーター制（4学期制）を採用しています。その他の学部の専門教育科目及び教養教育科目（全学部）では、セメスター制（2学期制）を採用しています。

富山大学ウェブサイト > 教育・学生支援 > 授業関係 > 授業・履修・授業時間 > 学年暦・履修登録日程等  
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/course/class/#anch01>



## 6 履修科目登録の上限（CAP制）

学年あるいは学期ごとに履修できる科目の合計単位数の上限を設定しています。

この制度は、履修できる授業科目数を制限することで、1授業科目あたりの学修時間を確保し、学修内容を深く身に付けることを目的としています。所属学部・学科・専攻によって制限単位数が異なるので、「履修の手引き」で確認してください。



## 8 授業

### (1) 授業時間

1回の授業時間（1時限）は90分で行います。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

時限	時間
1	8:45～10:15
2	10:30～12:00
3	13:00～14:30
4	14:45～16:15
5	16:30～18:00
6 (夜1)	18:10～19:40
7 (夜2)	19:50～21:20

### (2) 授業の欠席

#### 1) 公欠について

次に該当する事由で授業に出席することができない場合、公欠届及び必要書類を提出することにより公欠となり、単位認定要件に係る欠席扱いとしないことができます。

##### ①公欠事由

- (1) 親族が死亡した場合
- (2) 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患した場合又は感染のおそれがある場合
- (3) 裁判員制度による裁判員（補充裁判員を含む。以下同じ。）又は裁判員候補者に選任された場合
- (4) 検察審査会の審査員又は補充員に選任された場合

##### ②手続

公欠届と必要書類が整い次第（感染症の場合は、医療機関から治癒証明書等が発行された後）、速やかに所属学部等の教務担当窓口（⇒p.34）へ提出してください。

##### ③授業の取扱

公欠となった当該授業については、レポート作成その他の方策により適切な学修支援を行い、学生が履修上不利とならないように配慮されます。

#### 2) 欠席届の取扱いについて

公欠には該当しないが、教育実習やインターンシップ、病気、課外活動での大会出場等やむを得ない事由で授業を欠席する場合は、欠席届に関連書類を添付し、所属学部等の教務担当窓口（⇒p.34）へ提出してください。なお、欠席した授業及び成績評価における取扱は授業担当教員の判断に依ります。

制度の詳細や様式（「公欠届」「欠席届」）のダウンロードは、以下のページを参照ください。

富山大学ウェブサイト > 教育・学生支援 > 授業関係 > 授業・履修・  
授業時間

<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/course/class/#anch03>



### (3) 授業評価アンケート

本学では、原則として全ての授業科目で「授業評価アンケート」を実施しています。集計結果は、それぞれの授業の担当教員にフィードバックし、授業改善に役立てられます。

## 9 遠隔授業の受講方法

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面授業の実施が困難となった場合は遠隔授業を実施する場合があります。

### (1) 受講環境の準備

授業を快適に受講するため、できるだけノートパソコンとインターネット接続環境を準備してください。携帯端末等無線回線を使用する場合は、通信料が無制限で速度制限がかからないものを推奨します。

※「ノートパソコンを所有していない」、「動画視聴や資料閲覧のための通信環境に不安がある」といった方には感染防止対策をとった上で、各キャンパスの端末室で受講できるよう配慮します。

### (2) 利用するツール

#### ① ウェブシラバス (⇒ p.47)

授業概要を確認できます。各回の授業内容や遠隔授業の方法が記載されます。

#### ② Moodle (ムードル) [富山大学 LMS (学習管理システム)]

履修登録している授業の資料のダウンロード・課題提出等ができるシステムです。

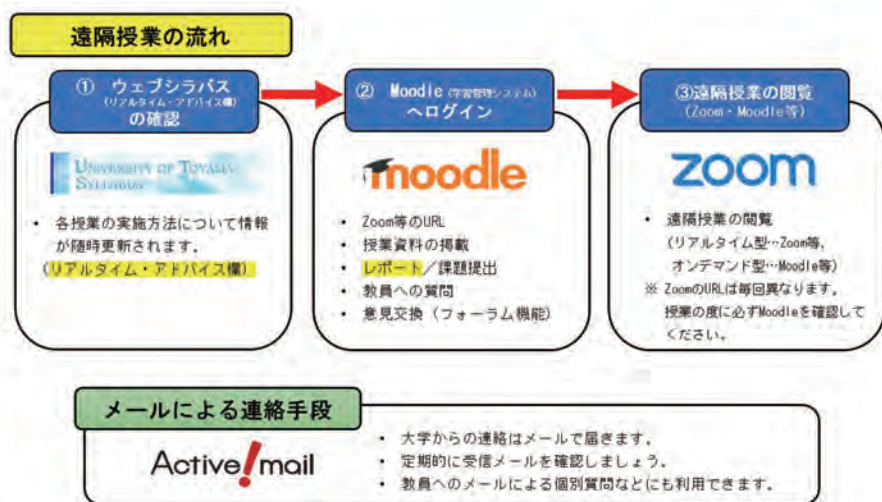
#### ③ Zoom (ズーム) [ウェブ会議システム]

リアルタイム型（同時双方向型）の遠隔授業に使用するウェブ会議システムです。

#### ④ Active!Mail

本学で利用できるメールシステムです。**重要なお知らせ等が頻繁にメールで送られるため、1日に複数回 Active!Mail を確認する習慣をつけましょう。**

### (3) 受講の流れ



#### ①ウェブシラバスで遠隔授業の形式を確認する。

ウェブシラバスで、受講する授業のリアルタイムアドバイス欄を参照し、各授業がどのような方法で遠隔授業を行うか確認する。また、MoodleのコースURLを確認し、ブックマークしておく。

#### ② Moodle で授業情報を確認する。

資料の閲覧や課題を確認する。Zoom等によるリアルタイム型(同時双方向型)授業の場合、日時、URL等を確認する。アクセス集中による障害発生を避けるため、**授業前日のうちに、各自の端末へ資料のダウンロード及びZoom等のURLのコピー(ブックマーク)を行ってください。**

#### ③ Zoom等でのリアルタイム型(同時双方向型)授業、もしくはMoodleでオンデマンド授業を閲覧する。

該当する日時に、指定されたURLで閲覧する。

#### ④ 質問・意見交換、課題の提出

Moodle上で質問・意見交換する。指定された課題の形式で提出する。

メールを用いた課題とその提出の場合もありますので、担当教員の指示に従ってください。

(参考) 遠隔授業の形式

遠隔授業には、以下のように複数の形式があります。授業ごとに教員の指示やウェブシラバス、Moodle上での連絡事項をよく確認し、適切に受講してください。



(1) リアルタイム型 (同時双方向型)	Zoom 等で映像や音声データを受信し、教員と学生がコミュニケーションを加えながら学ぶ授業方法。 ※ Zoom 使用の場合、担当教員から指示があるとき以外は、学生側はカメラ・マイクを OFF にして受講 <u>接続トラブル等により授業を受けられなかった場合は授業担当教員に連絡し、指示に従ってください。</u>
(2) オンデマンド型 (非ライブ動画配信型)	Moodle 等に置いた資料・動画などの教材を見ながら学ぶ授業方法。ディスカッション機能で意見の交換も行う。
(3) ハイブリッド型 (同時双方向・非ライブ組合せ型)	Moodle 等にアップされた資料・動画をもとに、Zoom 等でコミュニケーションをとりながら行う授業方法。

#### (4) 注意事項

著作権の侵害や授業の妨害、プライバシーの侵害を招く恐れのある以下のような禁止行為を行った学生に対しては、学則による懲戒処分等も含め、厳正に対処しますので注意してください。

なお、教員から配信された授業の資料（「Zoom」の動画や教材等）に関する著作権は、当該教員に帰属します。以下の 1、3 にある行為を行った場合は著作権侵害にあたり、著作権法に反することとなります。

- 1) 授業を録画や録音したりスクリーンキャプチャしたもの、ダウンロードしたりしたものを担当教員の許可なく第三者に提供すること、第三者が閲覧可能な形でウェブサイト上で公開すること。
- 2) 授業に参加するための URL、授業に関連する ID やパスワードを、担当教員の許可なく第三者と共有すること。
- 3) 授業で提供された資料等を、担当教員の許可なく第三者に配布すること。
- 4) 担当教員や出席者に対し、SNS などで誹謗中傷すること。
- 5) 試験等において身代わり受験やカンニング等の不正（オンラインで実施するものを含む）を行うこと。
- 6) その他、授業の正常な進行を故意に妨げること。

#### (5) 遠隔授業に関する問合せ先

その他、遠隔授業について不明な点がある場合は、下記に問い合わせてください。

教養教育科目：教養教育支援室

TEL：076-445-6031 E-mail:info-kyoyo@adm.u-toyama.ac.jp

専門教育科目：各学部等教務担当窓口（⇒ p.34）



## 10 休講・補講

休講・補講の情報は、次の連絡媒体で発信しています。常にチェックしましょう。

学務情報システム「ヘルン・システム」 ※学内利用推奨

<https://www.t-gakujo.adm.u-toyama.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

ウェブサイト版掲示情報 ※学外からも閲覧可

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/>

スマートフォン用アプリケーション「とみだい iNfo」

<https://www.u-toyama.ac.jp/news/2018/0319.html>



## 11 災害等による一斉休講措置



災害等が発生した場合や特別警報及び気象警報が発令された場合には、「富山大学における災害等による休講措置に関する取扱要項」に基づき、公共交通機関の運行状況等も考慮した上で、**全学一斉休講措置**を実施することがあります。気象警報等が発令された場合の措置については、以下を確認してください。

### 気象警報が発令された場合の休講措置（令和3年4月現在）

気象警報等発令の対象地域	①五福キャンパス及び杉谷キャンパス → 富山市
	②高岡キャンパス → 高岡市
	③その他授業を実施する地域 → 当該市町村
休講措置の内容	<p>上記地域で特別警報及び気象警報（洪水、暴風、大雪及び暴風雪）が発令された場合、公共交通機関の運行状況等も考慮し、以下の措置をとる。</p> <p>①午前6時30分の時点で気象警報等が発令されている場合 → 午前の授業を休講</p> <p>②午前11時の時点で気象警報等が発令されている場合 → 午後の授業を休講</p> <p>③午後4時の時点で気象警報等が発令されている場合 → 夜間の授業を休講</p> <p>④授業開始後に気象警報等が発令された場合 → 次の時限以降の授業を休講（特別警報が発令された場合は直ちに休講）</p>
休講の場合の連絡時刻	<p>（前日予告） 翌日に気象警報等の発令が予想される場合、午後5時頃までに翌日の対応について予告する。</p> <p>（当日） 気象警報等が発令されている場合、午前6時30分、午前11時、午後4時の時点で休講の実施を判断し、措置について速やかに連絡する。</p>
休講の場合の連絡方法	全学一斉休講措置の連絡は、次の媒体により行う。気象警報が発令された場合は、各媒体を確認すること。

### 全学一斉休講措置の連絡媒体

富山大学ウェブサイト > トップページ [INFORMATION]  
<https://www.u-toyama.ac.jp/>



学務情報システム「ヘルン・システム」 > 「お知らせ」  
 ※学内利用推奨

<https://www.t-gakujo.adm.u-toyama.ac.jp/campusweb/campusportal.do>



富山大学総合情報基盤センター > 「Active! Mail」  
<https://www.itc.u-toyama.ac.jp/>



スマートフォン用アプリケーション「とみだい iNfo」  
<https://www.u-toyama.ac.jp/news/2018/0319.html>



## 12 試験

成績評価は、シラバスに記載された成績評価方法に基づき行います。成績評価方法には、学期末に実施する試験や授業期間中に実施する小テスト、課題レポート等、科目により様々な方法があります。

試験実施等については、各学部及び共通教育棟の掲示板、学務情報システム「ヘルン・システム」にて通知するほか、授業担当教員によっては授業中に試験実施等の通知を行うことがあります。

また、試験の実施日や実施教室は、通常授業日程と異なる場合があるので注意してください。

### (1) 不正行為

試験等における不正行為は、学生としてあるまじき行為です。本学では、不正行為に対して厳正に対処し、不正行為が認定された場合には、35日間を基準とする停学に加え、当該科目のみならず、当該試験期間中に受験した全ての試験科目を無効とし、これらのことにより卒業が半年以上延期となります。

### (2) 追試験

試験欠席者等のうち、急病、近親者の死亡（3親等以内）、災害、不慮の事故等、真にやむを得ない事由により受験しなかった者が追試験を願い出た場合に、審査の上、

**追試験を許可することがあります。**(追試験は、不合格になった者に対する救済的措置ではありません。)

不明な点は、所属学部等の教務担当窓口又は学務課教養教育支援室(教養教育科目の場合)に早めに相談してください。

### (3) レポート

授業期間中又は期末試験として、レポートを課することがあります。レポートは、授業担当教員の指示する課題内容を十分理解した上で、作成してください。

### (4) レポート提出用ボックス

下記の場所にレポート提出用ボックスを設置しています。授業によってはレポートの提出場所が異なる場合があるので、教員の指示やシラバスを確認してください。

		設置場所	
五福	教養教育科目、専門教育科目(芸術文化学部1年次生)	共通教育棟A棟1Fエントランス	
	専門教育科目	各学部教務担当窓口(⇒p.34)	
杉谷	医薬系学務課		
高岡	芸術系総務・学務課学務チーム		

## 13 成績

### (1) 成績評価

成績の評価は、成績評価基準に基づき行います。

成績の評価	評語	GP	評価基準
90点以上	秀(S)	4	到達目標を達成し、極めて優秀な成績を修めている
80点以上 90点未満	優(A)	3	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている
70点以上 80点未満	良(B)	2	到達目標を達成し、良好な成績を修めている
60点以上 70点未満	可(C)	1	到達目標を達成している
60点未満	不可(D)	0	到達目標を達成していない
	認(N)	-	本学における授業科目の履修により修得したものとみなす
	合格(P)	-	定められた学修水準に達している
	不合格(F)	-	定められた学修水準に達していない

「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とします。合格した科目には単位が与えられます。

### (2) 成績通知

成績開示日以降、ヘルン・システム内の「履修成績照会」画面から成績評価を確認することができます。個別の通知は行いませんので、必ず各自で、成績評価及び単位

修得状況を確認してください。

### (3) GPA ※学士課程のみ

GPA（グレード・ポイント・アベレージ）とは、履修科目の成績の平均値のことです。履修した授業科目の成績をGP（グレード・ポイント）に換算し、学期GPA、学年GPA及び累積GPAを算出します。

各GPAの算出方法は以下のとおりです。学年GPAと累積GPAは各学年の成績通知書に記載します。

$$\begin{aligned} \text{(i) 学期GPA} &= \frac{\text{(当該学期の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP)の総和}}{\text{当該学期の履修科目総単位数}} \\ \text{(ii) 学年GPA} &= \frac{\text{(当該学年の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP)の総和}}{\text{当該学年の履修科目総単位数}} \\ \text{(iii) 累積GPA} &= \frac{\text{(在学期間中の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のGP)の総和}}{\text{在学期間中の履修科目総単位数}} \end{aligned}$$

なお、厳格な成績評価を行い、学位の質を保証するために、2019年度から各部局において「成績評価分布の目標」を定め、公表することとしました。

今後、この「成績評価分布の目標」を踏まえ、組織的に成績評価の適正化を図っていきます。

富山大学ウェブサイト > 教育・学生支援 > 授業関係 > 授業・履修・授業時間 > GPA 制度

<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/course/class/#anch06>



### (4) 成績異議申立て

成績評価について、以下の事由に該当する場合は、異議を申し立てることができます。成績評価の理由や根拠に関する申し立ては認められません。

- ① 成績評価の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りと思われるもの。
- ② シラバス等により学生に周知している達成目標及び成績評価の方法に照らして、明らかに誤りがあると思われるもの。

成績評価異議申立ての方法及び受付期間は、各学部掲示板等でお知らせします。

（教養教育科目は、共通教育棟A棟1F掲示板及びヘルン・システムで通知します。）

## 14 単位互換制度（大学コンソーシアム富山）

単位互換制度とは、他の大学等が開講する授業科目を履修し、単位を修得する制度です。本学が参加している大学コンソーシアム富山では、富山県内の7つの高等教育機関（富山大学、富山県立大学、高岡法科大学、富山国際大学、富山短期大学、富山福祉短期大学、富山高等専門学校）の単位互換協定を締結しており、他大学で履修した授業科目について、単位を修得することができます。本学では、他大学等で修得した単位を60単位まで認定できます。

他大学の特色ある授業科目を履修することで、異なる分野における知識の獲得や、より幅広い学びを得ることができます。学識を深めるためにも、この制度を積極的に活用してください。詳しくは、下記のウェブサイトに記載しています。

※独自に他大学との単位互換制度を設けている学部もあります。所属学部等の「履修の手引き」を確認してください。

※令和3年度より、教養教育科目については、放送大学との単位互換制度が始まります。詳しくは教養教育支援室で確認してください。

大学コンソーシアム富山ウェブサイト>学生の方へ>単位互換  
[http://www.consortium-toyama.jp/student\\_unit.html](http://www.consortium-toyama.jp/student_unit.html)



## 15 地域課題解決型人材育成プログラム（COC+）

「地域課題解決型人材育成プログラム」は、地元への意識を高め、創造的な課題解決能力を持つ人材を育成するための教育プログラムです。地域に関する授業科目を**4科目以上かつ8単位以上修得**した学生に、「地域課題解決型人材育成プログラム修了証書」を授与し、地方創生に結びつく「未来の地域リーダー」の称号を付与します。

「地域課題解決型人材育成プログラム」概要

対象者	修了要件	修了したら
全学部生	対象授業科目を4科目以上かつ8単位以上修得	「地域課題解決型人材育成プログラム修了証書」授与（「未来の地域リーダー」の称号を付与）

## 対象授業科目

科目群	内容	開講科目数 (令和3年度)
地域志向科目群 (教養教育科目)	富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然に係る教養教育科目	22 科目
地域課題解決科目群 (専門教育科目)	企業・地域等でのフィールドワーク、地方公共団体・企業等からの課題や問題点に対する演習等、地域に密着し課題を解決する力を養う内容を持つ専門教育科目	65 科目
地域関連科目群 (専門教育科目)	富山県の歴史・生活・風土・環境その他の地域の特性を基に展開する内容を持つ専門教育科目	64 科目

### <対象科目のシラバス>

富山大学ウェブサイト>在学生の方>授業関係> Web シラバス  
(授業案内)

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>

「COC+ 科目検索」で科目群別に検索してください。



## Web シラバス (授業案内) の画面

# 16 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (DS)

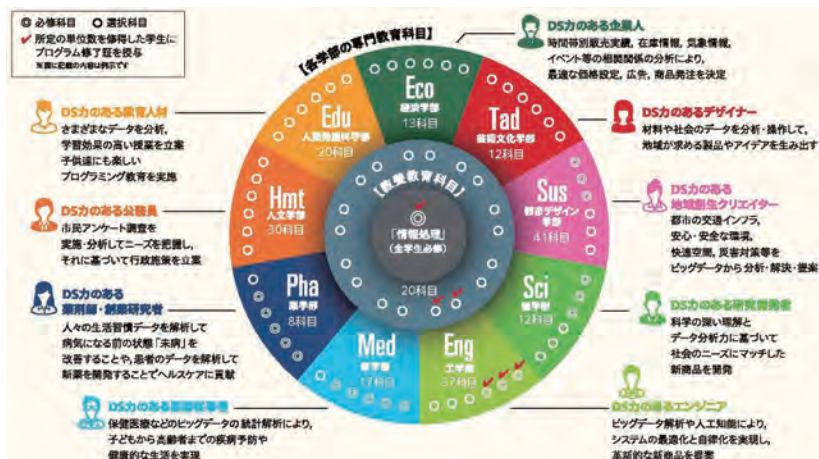
「データサイエンス」は現代社会における重要課題です。

本学では、数理・データサイエンスに関する基礎力を培うために関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を提供しています。

修了要件を満たした学生には、プログラム修了証が授与されます。

## 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」概要

対象者	科目種類	修了要件	修了したら
全学部生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数理科目</li> <li>・統計科目</li> <li>・情報科目</li> </ul>	<リテラシーレベル> 4科目 8単位以上修得 教養教育科目・専門教育科目問わず	「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム修了証」授与
		<応用基礎レベル> 8科目 16単位以上修得 教養教育科目…2科目 4単位以上 専門教育科目…3科目 6単位以上	



### <対象科目の一覧>

データサイエンス推進センター

<https://ds.ctg.u-toyama.ac.jp/education-about/>



### <対象科目のシラバス>

富山大学ウェブサイト> 在学生の方> 授業関係> Web シラバス (授業案内)

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>

「キーワード検索」で「DS 科目」と入力し、検索してください。

